

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF立川		
○保護者評価実施期間	2026年3月7日		～ 2026年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	124	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2026年3月7日		～ 2026年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・サッカー療育を通じた利用者様の「健康・生活」「認知・行動」「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」への支援	・「認めて、褒めて、励まし、勇気づける」指導 ・非認知能力へのアプローチ ・事業所での様子や支援内容、おうちや学校での様子等を連絡帳を通じて保護者様と日々情報共有をおこなうことで、その日在るべき支援を丁寧におこなうことができている ・職員会議、指導実践、各種研修等の定例で実施	・サッカー療育メソッドのブラッシュアップ ・全ての利用者様、ご家族の皆様の視点に立った療育を創造
2	・親子参加型のイベントや普段なかなか体験できない施設見学、四季折々の行事等、利用者様の笑顔に繋がる様々な体験活動、支援プログラム	・職員全員で利用者様と保護者様、ご家族の笑顔、支援に繋がる行事・イベントの企画立案 ・イベント施設等の現地での下見による、安全構築の設計 ・利用者様の成長をご家族と職員が一緒になって喜びをわかちあえる機会を創造	・イベント実施前のミーティングや実施後の総括・振り返りによる質の向上
3	・保護者会や勉強会、お便りの配布、個別面談等、保護者様、ご家族の皆様に寄り添った支援	・保護者会や個別面談の機会を通して利用者様の将来や困りごとに対して寄り添った支援機会を創造 ・利用者様と職員の日々の様子をお便りやインスタグラム等で可視化	・全ての保護者様、ご家族の皆様の視点に立った支援の創造

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設面の充実	・定員に対し事業所スペースが限られている為、室内で提供できるプログラムに制限がある。また、特定の曜日でグラウンドが使えないなど、曜日によっての差が出てきている	・室内での活動の際は、グループごとの小集団に分けて実施 ・近隣の外部施設の利用を検討
2	・職員の人員配置	・「男性職員」の比率が少なく、同性介助が難しいケースがある	・採用面での男性職員の人員充足や、有給休暇等含めたシフトの見直し
3	・職員の話し合いの時間確保	・日々のケース会議、カンファレンス等、話し合いの時間が足りていない	・役割グループの設置。「役割の明確化」と「業務の脱属人化」を推進 ・毎週末に定期的に、振り返りと次週の打ち合わせを実施